Engineer ソフトウェア

アクセシビリティに関する声明

WCAG 2.2 AAの目標、自動検査と対象範囲、ホバーラベルの
既知の制限、利用の障壁を報告する方法を説明しています。

すべてのページ、サイトのすべての言語、両方の配色で、WCAG 2.2のレベルAAを目標としています。 一部のみ満たしている既知の達成基準は、以下に説明します。この声明には、検査の内容、検証した範囲、利用の障壁を報告する方法を記載しています。

利用の流れを使いやすくする

入力方法や読む環境が異なっていても、必要とする人が使えるサービスにしましょう。

サービスを見る お問い合わせ →

アクセシビリティの根拠を確かめる

適合記録を参考に、自動で行った検査と人の判断を伴った検査についてお尋ねください。

事例 お問い合わせ →

公開前に検査すること

公開前の品質ゲートでは、各テンプレートとサイトのすべての言語の代表ページを、両方の配色で自動検査します。失敗した場合は公開を止めます。検査結果が示すのは、テストしたページと条件での結果です。

- **構造、名前、コントラスト。** axe-coreで、名前、役割、ランドマーク、見出しの順序、色のコントラストを監査します。WCAGのルールに加え、ベストプラクティスのルールも有効にしています。
- **キーボード。** 実際にページの上から下までTabキーを押し、すべての停止箇所で、フォーカス表示が見えて、何にも覆われないことを確認します。最初の停止箇所は、本文へ直接移動するリンクです。
- **ターゲットのサイズ。** 達成基準2.5.8にあるインラインと間隔の例外を適用しつつ、最小24 × 24 CSSピクセルを満たすか確認します。
- **間隔と文字の拡大。** 行、文字、単語、段落の間隔を広げた状態と、文字を二倍にした状態で、それぞれページを配置します。どちらも、内容が失われず、横スクロールが生じないことを求めます。

- **読みやすい行。** 測定対象の文章について、一行が80文字以下であること（中国語・日本語・韓国語の文字体系では40文字以下）、折り返す複数文の文章が左揃えであること、行間が少なくとも1.5であること、段落間の間隔を確認します。これらは、AAAの達成基準1.4.8「視覚的提示」にある、読みやすい配置の要件を検査するものです。

さらに二つの検査を、毎回の公開前ではなく、必要に応じて実施します。一つは、1.4.10「リフロー」が対象とする320 CSSピクセルの幅でページを配置し、横スクロールが必要なものがないか確認します。もう一つは、自動翻訳で起こり得るように、画面の各文字列を最大2.5倍の長さにし、レイアウトが保たれるかを確認します。

どの方法でも読めるように

- **テキストリンクには下線を使います。** ボタン、カード、ナビゲーションも、形と見えるラベルによって操作内容を示します。
- **動きは装飾だけです。** 回る歯車、顔写真、ブランドマークが該当します。OSで動きを減らす設定にすると、すべて停止します。
- **JavaScriptなしで動作します。** 全件の一覧、リンク、メニューには、HTML、CSS、ブラウザーの標準の操作部品を使います。
- **各ページで言語を宣言します。** ブラウザーや支援技術が、適切な言語を選ぶ助けになります。
- **写真には代替テキストを付けます。** 帯状に配置する写真のクレジットも、支援技術が読めるマークアップに含めます。

ページはHTML、CSS、SVGで記述し、HTMLだけでは名前を示せない箇所にWAI-ARIAを使っています。各ページは、実行可能なJavaScriptなしで完結しています。

一部のみ満たす達成基準

1.4.13「ホバー又はフォーカスで表示されるコンテンツ」。 現在のCSSラベルは、ポインターをラベルの上へ移しても表示され続けます。他の内容を覆い、キーボードで閉じる操作がないため、この達成基準は一部のみ満たしています。

各ラベルは、そのアイコンのアクセシブルな名前を繰り返しています。ポインターまたはフォーカスを外すと閉じます。

該当しないもの

次のものはサイトに含まれないため、関連する達成基準は該当しません。

- **音声と動画。** したがって、字幕、音声解説、メディアの代替コンテンツに関する基準。
- **何かを送信するフォーム。** したがって、入力エラーに関する基準。お問い合わせページは、ご自身のメールアプリや電話に引き渡します。
- **あらゆる時間制限。**
- **ジェスチャー、ドラッグ、機器の動き。** このサイトでは、どれも要求しません。
- **ログイン。** このサイトでは、求めません。

検査の対象範囲

評価の範囲は次のとおりです。

- 自動検査の結果は、実際にテストしたページ、表示領域、状態、ブラウザーエンジンに適用されます。
- 記録された手動検査は、選択したキーボード操作と拡大操作を対象としています。VoiceOver、NVDA、スイッチ機器を用いた検査は、その記録に含まれません。
- リンクの目的、文章、意味のある読み上げ順序は、人が判断します。
- 開いたメニューの検査では、配置、ターゲット、キーボードによるアクセスを測定します。半透明の背景の上のコントラストは、別の確認が必要です。
- 画像を背景とする箇所のコントラストは、選択した表示箇所と画面幅で測定しています。
- 専門サイトはテンプレートを共有していますが、独自の上書き設定があります。その描画結果の検査は、必要に応じて実施します。

利用の障壁をお知らせください

開けないページ、内容を誤って示すラベル、読めない文章など、利用を妨げるものがありましたら、ページのアドレスと起きたことを添えて、welcome@engineer.companyへお送りください。すべてのメールを担当者が読

み、個別にお返事します。

お客様のサイトにも同じ検査をご希望でしたら、ご相談ください。

重要な利用の流れから始める

最も重要な利用の流れから始め、キーボードでの操作、構造、読みやすい表示を確認しましょう。

料金を見る お問い合わせ →

範囲を定めたアクセシビリティレビューを依頼する

対象範囲を定め、指摘事項を記録するアクセシビリティのレビューや修正をご相談ください。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン



このページを持ち歩く



連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://software.engineer.company/ja/accessibility/